

事例の概要

※この事例は、皆さんが基礎研修の時に体験した事例の2年後を想定しております。内容に関しては研修用に作成しているものなので、本人の訴え等は意図的に情報を多くしております。障害特性的には矛盾が生じる箇所もありますが、あくまで、太郎さんと一緒に考え、そして伴走していくために、サービス管理責任者として何がこの2年間足りなかったのか？情報の整理・権利擁護・本人支援・チーム支援・地域とはと想像しながらお読みください！！

※支援センターひまわり→太郎さんが利用している相談支援事業所 ピアハウス→太郎さんが生活しているグループホーム スマイル→太郎さんが通っている就労継続支援B型事業所

この事例の登場人物、施設名等の名称はすべて仮称です。

猪苗代 太郎 さん

記入者 支援センターひまわり 相談支援専門員 六本木はやと

事例タイトル	父親と弟との暮らしが困難になり、グループホームと就Bを利用しながら地域で生活することを希望していた事例の2年後。
相談経過の要約	太郎さんは、特別支援学校の高等部を卒業し、製造部品を作る工場に就職。面倒見の良い上司がいて太郎さんも素直に対応した。上司がわかるまで丁寧に教えてくれて、ときに叱咤激励してくれたことで、安心して働いていた。しかし、1年後に上司が変わり、その上司が他の職員の対応に追われて、太郎さんにあまり気を配らなくなった。それから半年後に、太郎さんは「上司からの注意が怖い」「仕事が集中して取り組めない」などの不安を訴え、工場に通えなくなり、そのまま退職してしまった。それ以降「誰とも会いたくない」と話して、求職活動もなかなかできず自宅でのひきこもり状態の生活になっていた。 太郎さんが退職して半年後、大工をしていた父親が通勤途中で交通事故にあい大けがをした。父親も右半身に麻痺が残り、仕事ができなくなった。最初のころは貯蓄で何とか生活していたが、すぐに生活保護となった。それまで父親が家事などを行っていたので、さらに乱雑な状態となり、食事も偏りが見られた。 父親から「太郎の面倒をみていくことができない。何とか施設に入れてもらえないか」と市役所に相談があり、太郎さんも「お父さんと離れて、自分で生活できるようにになりたい」と希望した。太郎さんは、相談支援センターひまわりで相談を始めて、見学等も行うち「相談しながらやっていきたい」「今は朝も起きられない」「掃除や洗濯、調理もできない」。でも、「いずれ自分のことは自分でできるようにになりたい」ので「一人暮らしに向けた準備をしたい」「すぐに働く自信はないのでそのために力をつけたい」とピアハウス（グループホーム）を利用しながら、スマイル（就労継続支援B型事業所）に通所するようになる。 2年が経過して太郎さんは、ピアハウスの暮らしもスマイルでの仕事も特に大きな課題もなく活動している。モニタリング時の会議での計画の変更もなく継続

	して一般就労に向けて個別支援計画も作成して支援を行っている。関係機関からも最近は連絡も少なくなりスマイルでは、エース的な存在でとても助かっているとの事。ピアハウスでも新しい入居者の面倒を見てくれてリーダー的な存在とそれぞれ、高い評価を得ている。 ～ある日の昼下がり～ スマイルから相談支援専門員に、「太郎さんの実家に警察が来ていたようだ」と出入りしている業者の方から情報提供があった、と連絡があった。 サービス管理責任者が父親に確認したところ、太郎さんに似た人が実家の近所の佐藤さん宅を覗き込んでいると近所から通報があったとの事。父親は、その日は太郎さんがピアハウスから帰ってくる予定であった事から、てっきり「太郎が佐藤さん宅を覗いたのに違いない……」と思ってしまう、太郎さんに確認する事もなく、警察に太郎さんのことを説明し、太郎さんには父親が注意をするので勘弁して欲しいとお願いし、大事にはならなかったそうだ。 スマイルでは、サービス管理責任者の他の職員は以下のように話してくれた。 職員A；最近トラブルもなく絶対的エースだったので残念です。 職員B；太郎さんを連れて佐藤さんのご自宅に謝罪に行った方が良いのでは？ 職員C；大事には至らなかったけど、他人の敷地に無断で入るのは犯罪よね… 職員D；本当に太郎さんなのかしら… 職員A：私、太郎さんは仕事の面では特に問題なかったから、作業もおまかせで、太郎さんと話をする機会が減っていた様な気がする・・・ 職員B：そういわれると私も・・・ちゃんと話聞けてたかな・・・ 職員C：私も・・・ 職員D：私も・・・ 相談支援専門員は、スマイルからの報告を得てピアハウスに伺い、太郎さんには上記のことは伏せて話をさせてもらった。 相談；太郎さん、最近の様子を聞かせていただけますか!? 太郎；スマイルでは、一般就労に向けてがんばっています。最近仕事では何も変わりなく職員には「エースだ」なんてといわれてはいるけど…、自分ではいつになったら就職できるか不安です…。ピアハウスでも、「リーダーだ」なんていわれてはいるけど…、いつになったら一人暮らしを始められるのか…これもやっぱり不安です…。 最近あまり実家に帰っていなかったけど、前回の帰省の際に父親から急に怒られました…。何のことかよくわからなかったけど、悲しかった…。 相談；就職や一人暮らしのことはサービス管理責任者に相談してみたらいかがですか!? 太郎；スマイルには沢山の利用者さんが通っているから、職員さんは忙しそうで迷惑をかけたくないんです。ピアハウスでも新しい利用者さんが慣れるよ
--	---

	うにお世話をしなくてはいけないから迷惑はかけたくないし…。 相談；お父さんから怒られたことは心当たりがないのですか!? 太郎；隣の佐藤さんにご迷惑をかけたといわれたが、何のことかわからない。自分はまっすぐ家に帰ってきたので、寄り道はしていないし…。いきなりで、詳しいことは何も言っていなかったから…本当に心当たりはないです…。 相談；そうだったのですか…びっくりされたんですね…、お辛かったですでしょう…。 ※後日、佐藤さんからの話でも佐藤さん宅を覗いていたのは太郎さんではないことがわかりました。近所の方の誤情報だったようです！誤解は解けたものの、この事をきっかけに絶対的エース、リーダー的存在と言われる太郎さんの様々な想いが聞かれることとなりました…
	年齢 24歳 性別（男性） A市で生まれ。 家族構成 父：もともとは大工。以前はとても面倒見が良かった。無職 交通事故で右半身に麻痺が残る。何とか自分のことはこなせるが、子どもたちの世話をすることができなくなっていた。太郎さんの施設入所を考えていたが、太郎さんの「自立したい」という気持ちを聞いて、太郎さんには福祉サービスを利用して自立してほしいと思っている。グループホーム入居後は、月1回帰省していたが現在は半年に1度程度で、最近は帰省の回数も少なくなっている。父親はピアハウスとスマイルを利用している事で安心している様子。今回の件で、帰省はしばらくしない方が良くと思っている。 母：福祉サービス利用後は1度会った程度。 弟：福祉サービス利用後は会っていない。
手帳・区分	療育手帳 障害程度は軽度 B判定 障害支援区分 2
生活歴及び病歴	【生活歴】 A市で生まれ育つ。初語や歩行は少し遅かったが、特に保健師からの指摘事項はなかった。小学校3年生から自閉症・情緒障がい児特別支援学級に通学、中高は知的障がい特別支援学校に通学。好きなこと（木工や昆虫図鑑を見ること）は集中して取り組むことができるが、興味が無いと席に座っていることができない。また中学・高校は太鼓部に所属し、地域の演奏会などに参加。友達も数人いたが、自分から積極的に作るタイプではなかった。どちらかというと受け身的な性格であり、話かけられるのを待つ方だった。困りごとがあっても相談できない。面倒見の良い人がいると素直になって長続きする。仕事はしたいと思っていたが、またうまくいかないのではないかと、求職活動はできずにいた。 【病歴】 中学校進学時に、児童相談所で判定を受け療育手帳を取得。仕事を辞めた後、

別紙 1 -猪苗代太郎 事例の概要・アセスメントシート

	自宅で引きこもった生活をしていた。生活保護の担当 CW の勧めもあり、精神科病院に受診。診断名は自閉症・知的障害。眠剤と安定剤を 1 日 1 回処方されて飲み始めた。受診してからは、夜少し眠れるようになったと話す。
経済状況	障害基礎年金 2 級年金 補足給付：家賃 10,000 円 生活保護受給。 工賃 25,000 円
相談に至る経緯	2 年前 父親から太郎の生活の面倒が見られないので、施設に入所させたいと市役所に相談。 現 在 スマイルとピアハウス中心に支援を行っている。相談員もモニタリング時期に訪問。
望んでいる暮らし	～2 年前スマイル・ピアハウス利用時の思い～ 太郎さんの希望は、「父親には世話になったので迷惑をかけたくない」「自分のことは自分でできるようになりたい」「困りごとを相談したい」「将来は一人で暮らしたい」と思っているが、「今は朝もなかなか起きられない」「掃除や洗濯、調理もできない」ことに困っている。そのため、「3 年後ぐらいにはまた働きたい」「今は働くことの自信はないので力をつけたい」「1 人でコツコツと集中できる作業が好き」「働くときには優しい上司がいるところが良い」と話している。友達がうまくつくれなことを気にしていて「一緒に遊ぶ友達が欲しい」「昆虫の話ができる友達ができれば最高」と言っている。 自分で自立した生活というイメージがまだ持てていないが、周りの人の協力が得られれば、十分地域で生活できると、生活保護の担当者は考えている。 太郎さんは、「3 年後には普通に仕事をして立派な男になりたい」と言っている。 ～現 在～ 太郎さんの話から（太郎さんが心配な事） 「自分が就職したら自分が担当しているスマイルの仕事は、だれもできる人がいないのでは」 「自分が一人暮らししたらピアハウスの新しい入居者の面倒を見る人がいなくなってしまうのでは」 「先日、父親に怒られたもう帰れないのではないか」 太郎さんの話から（不安な事） 「スマイルやピアハウスで褒められる事は増えて自信は持てるようになったが・・・」 あと 1 年で普通に仕事をして立派な男になれるのだろうか」 「父親やお世話になっているスマイルの職員やピアハウスの職員には迷惑をか

別紙1-猪苗代太郎 事例の概要・アセスメントシート

	けたくない」 「いつになったらお父さんに世話になった分お返しできるかな」
本人の状況と最近の様子	相変わらず、太郎さんからの質問は少なく、積極的に相談する事は難しいが、遅刻等もすることはなく、活動には積極的に参加している。
その他	父親の右半身に麻痺が残り、これ以上の回復は望めない状態。 弟は、他市に引っ越しし、〇〇会社に就職し一人暮らししている。健康状態の問題は特に無い。

アセスメントシート

記録：相談支援センターひまわり 相談支援専門員：六本木はやと

相談日時	令和8年8月5日 13時～15時
氏名等	猪苗代 太郎氏、24歳 男性 知的障害（軽度） 障害支援区分 2 （月1回精神科受診）
望んでいる暮らし	＊2年前＊ 全体 「父親には世話になったので迷惑をかけたくない」 「困りごととは相談したい」 「3年後には普通に仕事をして立派な人になりたい」 生活面 「自分のことは自分でできるようになりたい」 「将来は一人で暮らしたい」が「今は朝もなかなか起きられない」し「掃除や洗濯、調理もできない」 「一緒に遊ぶ友達が欲しい、昆虫の話ができる友達ができれば最高」 就労面 「3年後ぐらいにはまた働きたい」 「今は働くことの自信はないので力をつけたい」 「1人でコツコツと集中できる作業が好き」 「働くときには優しい上司がいるところが良い」 ＊現在＊ 全体 「父親には世話になったので迷惑をかけたくない」 「父親に世話になったぶんお返ししたい」 「1年後には普通に仕事をして立派な人になれるかな」 生活面 「掃除や洗濯、調理も簡単なものはできるようになったけど、一人暮らしはできるのかな」 「世話人さんや職員さんには世話になったので迷惑をかけたくない」 就労面 「来年は就職できるのかな」 「職員さんには世話になったので迷惑をかけたくない」
心身の状況	身長 175 cm 体重 80 キロ 特に問題ない。
精神面の状況	2年前

別紙1-猪苗代太郎 事例の概要・アセスメントシート

	突然怒り出したりすることは、以前に比べれば少なくなってきた。ただ自分のペースを乱されたり、急かされたりするとイライラする感じが見られる。 見た目は大人しそう。高校時代の担任の先生は「普段は、穏やかに過ごしていた」「集中している時は、周りの声も耳に入らない」と言われていた。父親を尊敬していて世話になったと思っている。 現 在 突然怒り出したりする事はなく、穏やかに過ごしている。スマイルでは絶対的エースで担当する部署をけん引している。ピアハウスでも一緒に住んでいる利用者の模範的な存在である。
生活の自立度	2年前 朝起きるのが苦手で生活リズムがなかなか安定していない。ADLは自立している。 家事は手先が器用なので練習すればできるようになるのではないかな。やり方や手順について確認する必要がある。 現 在 朝は、目覚まし時計で起きられる様になっている。掃除・洗濯・料理も簡単なものなら出来るようになってきているが、最近は新しい入居者のお手伝いが中心で以前のように食事を一緒に作ったりする機会は減ってきている。
気持ちの自立度	2年前 家を離れた暮らしは全く経験したことがないので、始めは戸惑うこともあると思われる。また、自分の思い通りにならないと、他の方とトラブルになる可能性もあるので、イライラしそうなときには早めに職員に伝えられるとよい。 現 在 順調にきていたので、介入が減ってきており本人の意向を確認する機会が少なくなってきており、本人の意向を定期的に確認できる機会があると良い。
服薬状況	2年前 夜、寝る前の処方のみ。自分で薬の管理ができるように練習している。 現 在 夜、寝る前の処方のみ。自分で薬の管理している。
経済状況	【収入面】 生活保護【家賃・医療費】・障害基礎年金2級・工賃25,000円 【支出面】 グループホームの費用 家賃30,000円（家賃補助10,000円） 食費30,000円 高熱水費15,000円 日用品費 13,000円 生活費（おこづかい）20,000円 *一人暮らしするために、毎月10,000円貯蓄している
趣味	昆虫の図鑑を見ること。手先が器用なので木工が好き。菓子・ケーキ等の買い物など
キーパーソン	父親

別紙1-猪苗代太郎 事例の概要・アセスメントシート

家族	父方母方の祖父母について 父方母方の祖父母は他界している（父方祖母は昨年他界している）
就労	2年前の情報 手先が器用で興味をもつと集中できる。また、面倒見がいい人の話は素直に聞くことができる。しかし、以前の工場での仕事の経験から「人に会うのが怖い」「また注意されるのが心配」と不安感を述べる。「1人でコツコツと集中できる作業が好き。」「働くときには優しい上司がいるところが良い」「3年後には普通に仕事をして立派な人になりたい」といずれしっかり働きたいという意欲はある。移動手段は、徒歩。公共交通機関は、これまでほとんど利用したことがないが、練習しだいでは利用できそうである。 現 在 スマイルでの作業はとても一生懸命行っている。施設外実習も検討したが、現在の太郎さんが行っているパートの変わりができる方がいないので、継続して作業に取り組んでもらっている。